

防犯パトロールの10年を振り返って

第1隊隊長 広松 和親

当町内の防犯パトロール隊が発足して、早いもので10年になります。

10年前の当時、大平山・丸山町内では防犯活動としてウォーキングや犬の散歩をされる方に防犯の腕章を着けていただいたり、有志の方によるパトロールが行われていたようです。しかしながら、その時点では組織的な取り組みにはなっていなかったようです。

そこで平成16年度の役員（久保会長）により「防犯パトロール隊」の結成が検討され、『我々の町は我々の手で守る』をスローガンに隊員を募集したところ33名の隊員が集まりました。これに町内会役員13名を合わせて総勢46名の隊員により、我々がパトロール隊は9月4日土曜日に活動を開始しました。パトロールのやり方は基本的に開始当時も今も変わりありません。西鎌倉地区などで先行して行われていたやり方を踏襲し、拍子木をたたきながらできるだけくまなく町内を回ることとしました。

この時私も隊員になったわけですが、私の母が防犯係の役員を務めていた関係で、成り行きで第1隊の隊長ということになってしまいました。それから10年間、どなたかに交代していただきたいと何度かお願いしましたが、結局ズルズルと隊長を続けることになってしまいました。我が第1隊は、『気楽に、長く続ける』をモットーに、できるだけ緩い縛りで活動を続けてきました。そのせいか現在私を含めて8名の方に、発足以来継続して活動を続けていただいています。一方で、市内有数の高齢化地区ということで、体力的理由で引退された隊員の方も大勢おられます。少しずつ世代交代（と言ってよいか疑問が残りますが）をしながら、10年間倦まず弛まず巡回してきました。

この間、開始1年後の平成17年8月に、来客車と不審車を区別するために「臨時駐車票」を導入、その1年後の平成18年9月からは世話役さんに任期中の参加を呼びかけることも始まりました。また、「世代ふれあいの会」への参加や、夏休みには子供会と連携して「子供防犯パトロール」の取り組みも始まり、これらの活動は今日も続いています。

ここまで書いてくると、防犯パトロール隊は町内会組織の一部と思われるかもしれませんが、実際には有志によるボランティア組織であって、町内会は隊の活動を物心両面でバックアップしてくれているという関係になります。町内会としても『防犯』は大きなテーマであり、パトロール隊と町内会は不可分の関係ではありますが、パトロール隊への参加を町内会の制度とすることは会員個々の事情もあり困難です。隊員はあくまでボランティアですので、『我々の町は我々の手で守る』という気持ちを持って、自主的に参加していただくことが基本になります。

今後も20周年に向けて活動が継続していくことが望まれますが、そのためには徐々にでも本来の意味での世代交代が進んでいくことが必要です。そのため、60歳より若い方に『我々の町は我々の手で守る』という意識を共有して、参加していただければと思います。これからも防犯パトロールが、町内の安全に寄与していただくことを願ってやみません。